

謹賀新年

新年のお喜びを申し上げます。
実り多い2019年となるよう、しなやかな女性力で
挑戦し医療と福祉と地域をつなぐ活動をすすめます。
本年もどうぞよろしくお願いたします。



日本女性会議 2018 in 金沢 テーマ「たえよう これまでの道 彩ろう未知なる明日」

10月12日～14日に開催された。全国から2000人以上の参加者が集い、ボランティア250人の運営協力を得て成功裡に閉会しました。記念講演、シンポジウム、9会場の分科会、交流会など開催。主会場歌劇座では金沢の物産展でお土産販売し買い求める方々で賑わっていました。

私は「政治への参画」第3分科会のパネリストで金沢市議会女性議員を代表して発言の機会を得ました。初めに、白井文元尼崎市長のミニ講演「議会の景色を変えてみよう」の後パネルディスカッション進行は実行委員の常光さん担当、①選挙出馬の背景・志から発言し②議員活動、選挙などの現在の課題③女性議員や自治会長が増えるには?の内容で進める。

私のまとめの発言として、一般的に女性の政治参画に対する社会の理解が低い中、女性自身の政治への関心が低いこと、さらに議員を志す意欲が低いこと、男女共同参画の風土が育っていないなど議員立候補のハードルも高い。女性議員の立場から女性の視点を活かし、一人でも多くの女性と社会と出会い、つながりながら女性の関心が高い施策を取り上げている。自分自身の人生経験を活かして女性ならではの活動を行っていることに理解を頂きたい。参加の方々には「自分が動こう、応援しよう」という意識を持ち帰ってほしい。まずは、各自治体の議会において女性議員の議会傍聴からはじめてはどうか。と述べました。



男女が共に輝く未来に向けて金沢から新たな一歩を交流会で山野市長と

協賛イベント/ランチセッションかなざわ起業女子きらめきプロジェクト プーストークイベント



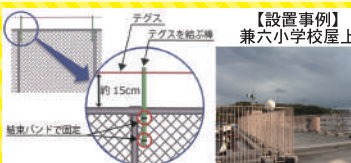
10月28日金沢マラソン 市長の号砲でスタート。

8月協働のまちづくりチャレンジ事業「お馬さんがやって来るよ」

8月連携中核・都市交通特別委員会 宇都宮市視察

9月シンポジウム現代女性の健康について考える in 石川

カラスを近寄らせないために 金沢環境政策課 ☎(076)220-2507
フェンスや木などにテグス(釣り糸)を張ることで、カラスは嫌がり近寄らなくなります。議会でカラス対策を何度か質問しているが12月中旬に兼六小学校屋上にテグスを使用する方法を環境政策課で対応して頂きました。カラスが近寄らない効果が見られます。



【設置事例】兼六小学校屋上

議会報告 12月定例会月議会開催(平成30年12月10日～25日)

山野市長は11月の選挙で3期目の市政を担当することになり、12月議会で、先人が培ってきた伝統や文化を大切にしながら新たなまちづくりの挑戦を続け、まちの魅力と活力をさらに高めて、未来の世代に引き継いでまいりたいとはじめに述べられました。



企業会計決算審査特別委員会委員長報告をいたしました(平成30年12月20日)

平成29年度公営企業特別会計未処分利益剰余金の処分並びに、平成29年度のガス事業、水道事業、発電事業、工業用水道事業、病院事業、中央卸売市場事業、公共下水道事業及び公設花き地方卸売市場事業の8会計の決算認定です。9月13日～11月12日にわたり委員会を開催し慎重なる審査を行った。企業局の城北水質管理センターと七ツ屋水管橋の現地視察を行い、29年度公営企業特別会計決算認定について賛成多数で認定すべきものと決した。審査過程での各事業への要望事項を付し報告しました。

9月定例会月議会 平成30年9月13日一般質問 (質問項目・答弁主な要約)

問1 女性の就労支援について

- 働きたい女性就職活動応援プロジェクト推進について
- シングルマザーの就労支援について・若年女性無業者の対応について
- 若者活躍サポート事業について



女性の就労環境について労働相談窓口に女性の社会保険労務士を配置し女性が相談しやすい体制を整備。また働きたい女性就職活動応援プロジェクトや非正規雇用から正規雇用への転換を企業に促す奨励金制度を設けた。資格取得をサポートすることにおいて昨年度改定したひとり親家庭等自立促進計画に基づき、子育て支援や生活支援などのため施策に取り組んでいる。就業支援も一つの柱としており、資格取得を含めた各種給付金による能力向上のための支援の充実、個別の自立支援プログラムの策定、企業のマッチング支援など雇用確保の推進、働く場の環境整備などにも取り組んできている。

問2 ライフステージに応じた女性の健康支援について

- 女性特有の子宮疾患の勉強会からの取り組み
- 月経に関する学校現場の取り組み
- 一般女性への啓発・女性活躍と更年期について



成人女性の健康に関する正しい知識の普及啓発が大切であると考えており子宮内膜症など女性特有の疾患についての情報を全戸配布する冊子「検診と保健のしおり」に掲載することや講演会を開催することも検討する。

問3 子ども医療費について

- 接骨院・鍼灸院等の現物支給への拡充



接骨院受診にも現物給付とする方向で進めていく方向である。またひとり親医療費の子どもの方につきましても検討していきたい。

問4 母子保健を通じた児童虐待防止について



乳幼児健診の未受診者すべてについて保健師訪問で子どもの状況を把握している。未受診が続いている場合は状況に応じて児童相談所などと連携し、子供の発育発達状況の確認に務めている。また予防接種の未接種者については乳幼児健診などの機会をとらえて接種の勧奨をしている。虐待予防に限らず健診後のフォローアップや母乳相談などの養育支援として訪問したケースは平成29年度で992件ありました。

質問の終わりに

虐待と気づいたら速やかに、児童相談所全国共通ダイヤル189番へ。いち早くと覚えて!! もしもの時はためらわずに189番へ電話することの周知・啓発をお願いしました。

